

# 都市再生整備計画

はかたみなみえきしゅうへん だい かいへんこう  
JR博多南駅周辺地区(第2回変更)

ふくおか かすが  
福岡県 春日市

令和7年11月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	福岡県	市町村名	かすが 春日市	地区名	はかたみな残きしほうへん JR博多南駅周辺地区	面積	101 ha
計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 9 年度	交付期間	令和 6 年度 ~ 令和 9 年度				

**目標**  
 大目標:市の地域拠点(駅前拠点)にふさわしい都市基盤施設の充実と魅力的な歩行者空間の形成を図り、歩きたくなるまちなかを創出する  
 目標1:エリアの特性を活かした回遊性が高く、巡り歩きたくなる公共空間を創出する  
 目標2:駅周辺の歩行者空間を整備し、快適で安全な歩行者ネットワークを形成する  
 目標3:官民連携による多様な人々の出会いや交流が生まれる滞留空間や交流拠点を創出する

**目標設定の根拠**  
 まちづくりの経緯及び現況  
 ・山陽新幹線のJR博多駅から1駅先にあるJR博多南駅周辺は、第2次春日市都市計画マスタープランにおいて本市の「都市型居住ゾーン」として位置付けられており、幹線道路沿道には商業施設も多く集積した利便性の高いエリアとなっている。  
 ・福岡市域の天神や博多地区へのアクセスが良く、福岡都市圏の住宅都市として発展してきた。  
 ・JR博多南駅周辺は、白水大池公園(総合公園)の他、日拝塚古墳等の遺跡も点在しており、自然環境豊かな住環境を形成している。  
 ・コンパクトな都市構造で災害リスクも比較的、地形的・地理的に居住に適した住宅都市となっており、人口密度は九州・沖縄地区で最も高くなっている。  
 ・今後、緩やかな人口減少と高齢化の進展が見込まれる中で、本市の地域活力を長期的に維持・向上させるため、令和5年度に立地適正化計画を策定(令和6年3月策定予定)し、持続可能な都市構造への再編を目指している。

**課題**  
 ・JR博多南駅の1日の平均乗降客数は15,000人前後で推移しており、多くの市民が利用しているが、そのほとんどが通勤や通学が目的であるため、市外の来訪者が増加するような特色のある道路空間の創出や公園の整備が求められている。  
 ・博多総合車両所に並ぶ新幹線を展望できる「新幹線の見える丘」を活用した春日西多目的広場公園の整備に加え、本地区内の魅力的なスポットの活用、道路の景観向上やバリアフリーへの対応等により、地域拠点(駅前拠点)にふさわしい子育て支援サービス等の多様な生活利便機能と一体となった歩きたくなる回遊性の高い公共空間を創出することが課題となっている。  
 ・多様な地域ニーズに応じたきめ細やかなまちづくりを実現するためには、行政主体のみでのまちづくりでは限界があるため、民間活力を活かした官民連携による取組が必要である。

**将来ビジョン(中長期)**  
 ①福岡都市圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(令和3年4月30日告示)  
 JR博多南駅周辺は拠点として位置付けられている。  
 ②第6次春日市総合計画(令和3年3月策定)  
 誰もが安全で快適に通行できる道路空間の構築及び憩いの空間としての公園の整備を進めることとしている。  
 ③第2次春日市都市計画マスタープラン(令和3年9月策定)  
 JR博多南駅周辺を地域拠点(駅前拠点)として位置付け、利便性の高さに合わせて、周囲の自然環境・歴史的資源への近接性を活かしたゆとりを感じる住宅地を形成し、市民に身近なスポーツ・レクリエーションの場として春日西多目的広場公園を積極的に活用すると位置付けられている。また、安全にJR博多南駅へアクセスできる歩行者空間の充実や優先的・重点的な景観形成を図るとしている。  
 ④第2次春日市緑の基本計画(令和3年9月策定)  
 春日西多目的広場公園を市民に身近なスポーツ・レクリエーションの拠点や広域避難場所としての防災機能の維持・向上を図る施設として位置付けている。  
 ⑤春日市立地適正化計画(令和6年3月策定)  
 人が中心となる道路空間の形成と回遊性の創出(ウォーカブルな歩行者空間の創出)や博多総合車両所を活用した魅力的なスポット創出による活性化策の検討(新幹線の眺望、史跡の活用、広場・公園・道路整備等)を進めることとしている。

**一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォーカブル推進事業の計画** ※一体型滞在快適性等向上事業の場合もしくはまちなかウォーカブル推進事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。  
 滞在快適性等向上区域の考え方  
 JR博多南駅を中心として半径約800mのエリアを滞在快適性等向上区域として設定し、公園整備、史跡の活用、歩道の景観向上、バリアフリーへの対応(段差解消、緩やかな勾配への変更)などにより、連続性・回遊性の高い歩行者空間を確保する。  
 また、春日西多目的広場公園においては、博多総合車両所に並ぶ新幹線を展望できる「新幹線の見える丘」として市指定史跡「原遺跡」を活用した魅力的なスポットを創出することで、既存の史跡や子育て支援サービス等の多様な生活利便機能と一体となった歩きたくなる回遊性の高い公共空間を創出する。  
 滞在快適性等向上区域での取組  
 既に歩道が整備されているものの縦断方向の起伏が激しい構造(マウンドアップ構造)となっている箇所については、快適に歩ける空間を創出できるようバリアフリーに対応した構造(セミフラット構造)への改良、景観向上を目的とした舗装のペイント及び高架下のパネル設置等を行う。  
 春日西多目的広場公園においては、公園内の市指定史跡「原遺跡」の眺望の良い場所に展望台の設置を行うことで、訪問者数の増加につなげる。

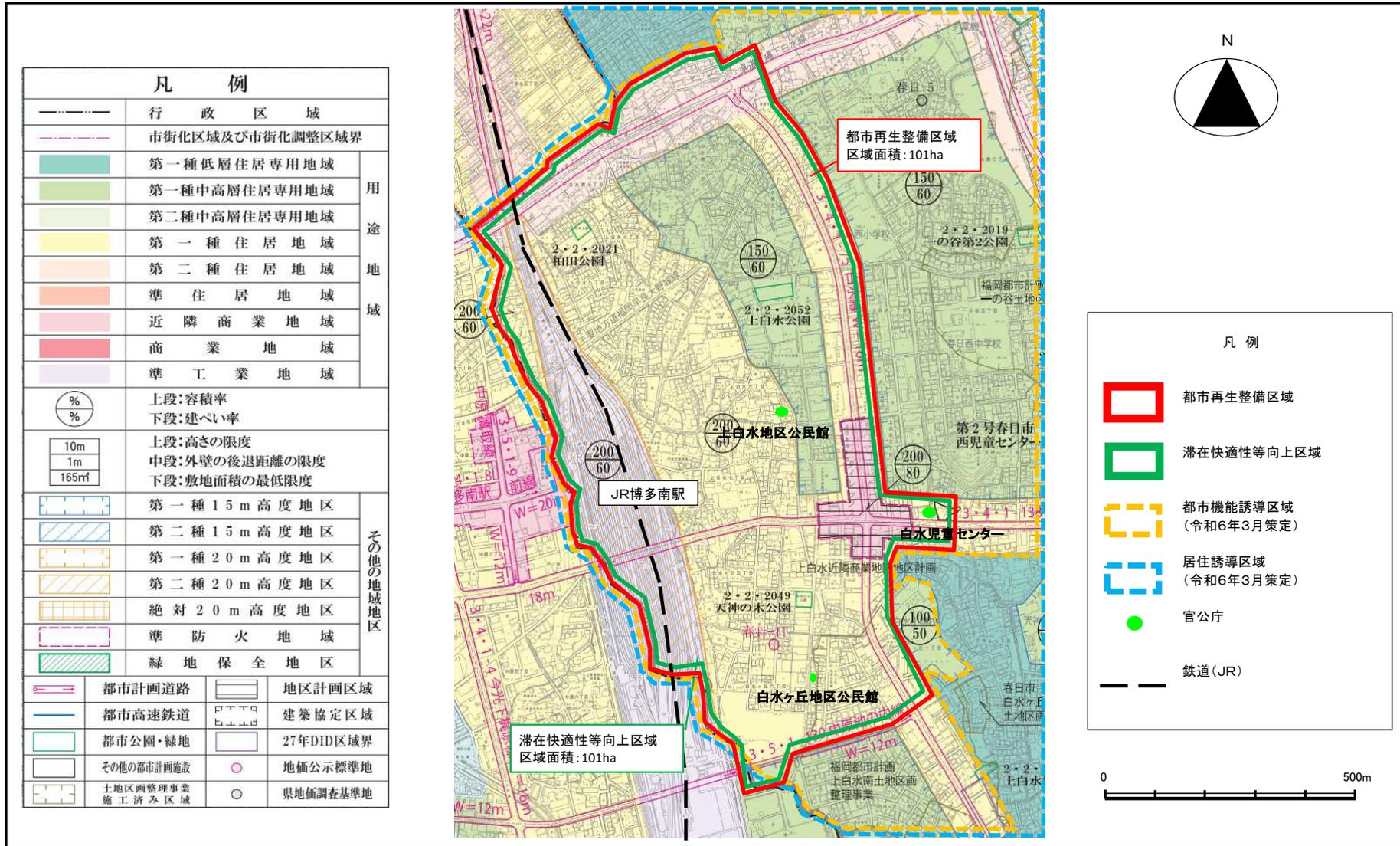
**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅周辺のにぎわいの創出の満足度	%	市民意識調査において、駅周辺のにぎわいの創出に満足と答えた割合	駅周辺に居心地の良い歩行者空間や特色のある公園などを整備し、史跡や子育て支援サービス等の多様な生活利便機能と一体となった歩きたくなる回遊性の高い公共空間を創出することで駅周辺のにぎわいを創出する。	53.0%	R4年度	60.0%	R9年度
歩道整備の満足度	%	市民意識調査において、歩道整備に満足と答えた割合	駅周辺の歩道の景観向上やバリアフリーへの対応を行う。	50.2%	R4年度	55.0%	R9年度
当地区において開催されるイベントの回数	回	当地区における地元団体のイベント開催数	公園や史跡などを結ぶ周遊ルート上の道路整備(舗装のペイント、段差解消)を行うことで、公園や史跡などの魅力的なスポットの活用を推進する。	2回	R4年度	5回	R9年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1 エリア特性を活かした回遊性が高く、巡り歩きたくなる公共空間の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在快適性等向上区域において、駅利用者や地域拠点への訪問者、その他当該エリアに立地する公園、史跡及び子育て支援サービス施設などの利用者等が目的地まで安全で快適に通行できるように、回遊性の高い道路を整備する。</li> <li>・歩行者空間の景観向上を目的とした舗装のペイントや高架下のパネル設置を行うことで、巡り歩きたくなる道路空間を創出する。</li> <li>・地域のコミュニティ活動、交流イベント及び子ども達のボール遊びなどが行えるように多目的広場を大きく設けることで、市民が集う多様な機能を有した公園整備を進めるとともに、公園内の質の高い緑化を推進することで、グリーンインフラとしての緑の多機能性を活かした都市空間の形成と活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【基幹事業】春日西多目的広場公園整備事業</li> <li>【基幹事業】市道1級第1号路線道路整備事業</li> <li>【基幹事業】市道2級第14号路線道路整備事業</li> <li>【提案事業】高架下パネル設置事業</li> </ul>
<p>【整備方針2 地域拠点にふさわしい安全で居心地の良い道路空間を創出する。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在快適性等向上区域において、段差や勾配が急な歩道、狹隘な歩道などの課題を解消することで、人が中心となるウォークアブルな歩行者空間を創出する。</li> <li>・多様な生活利便機能と一体となって、歩きたくなる回遊性の高い道路空間の創出することで、交流の場となる空間の活用や店舗等の立地誘導を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【基幹事業】市道1級第1号路線道路整備事業</li> <li>【基幹事業】市道2級第14号路線道路整備事業</li> <li>【提案事業】高架下パネル設置事業</li> </ul>
<p>【整備方針3 官民連携による多様な人々の出会いや交流が生まれる滞留空間や交流拠点を創出する。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回遊性が高く魅力的な都市空間を形成するため、賑わいを創出するマルシェなどの地域交流を目的としたイベントを推進する。</li> <li>・博多総合車両所に並ぶ新幹線を展望できる「新幹線の見える丘」として春日市指定史跡「原遺跡」を活用した春日西多目的広場公園の整備や周辺道路の改良を進めることで、市の西部を活性化させる呼び水にしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【基幹事業】春日西多目的広場公園整備事業</li> <li>【基幹事業】市道1級第1号路線道路整備事業</li> <li>【基幹事業】市道2級第14号路線道路整備事業</li> <li>【提案事業】高架下パネル設置事業</li> </ul>
<p>その他</p>	
<p>【地元自治会と連携した協働のまちづくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では、自治会が果たす役割は大きく、まちづくりの中核を担っており、市民と行政がまちづくりの対等なパートナーとして、より良いまちづくりを行う「協働のまちづくり」を推進している。</li> </ul> <p>【官民が連携するまちづくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画の核となる施設はJR博多南駅(管理者(鉄道事業者):西日本旅客鉄道株式会社)であること、JR博多南駅の西側は那珂川市域と隣接していることから、本計画の実施にあたっては、西日本旅客鉄道株式会社や那珂川市との連携は必要不可欠となる。</li> <li>・令和5年2月17日に、本計画における重要な拠点施設である、春日西多目的広場公園内に位置する春日市指定史跡「原遺跡」の用地を西日本旅客鉄道株式会社から寄附してもらうなど、西日本旅客鉄道株式会社と連携したまちづくりを推進している。また、本公園を観光資源として活用していくため、博多総合車両所に並ぶ新幹線を眺望できる「原遺跡」を「新幹線の見える丘」として活用した展望台の整備や新幹線を身近に感じることができるような公園整備を進めていく。</li> <li>・令和5年5月30日に、春日市と那珂川市はそれぞれ「西日本旅客鉄道株式会社との連携協定」を締結しており、今後のまちづくりにおいて相互に連携を図ることを確認している。</li> </ul>	



<p>JR博多南駅周辺地区(福岡県春日市)</p>	<p>面積 101(101) ha</p>	<p>区域 春日市白水ヶ丘1丁目の一部、白水ヶ丘3～6丁目、上白水1、3丁目の一部、上白水4～10丁目、天神山1、7丁目の一部、下白水南4丁目の一部、下白水南5～7丁目、下白水北6丁目の一部、下白水北7丁目</p>
---------------------------	-----------------------	---



凡 例	
	行政区域
	市街化区域及び市街化調整区域界
	第一種低層住居専用地域
	第一種中高層住居専用地域
	第二種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	第二種住居地域
	準住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
	上段:容積率 下段:建ぺい率
	上段:高さの限度 中段:外壁の後退距離の限度 下段:敷地面積の最低限度
	第一種15m高度地区
	第二種15m高度地区
	第一種20m高度地区
	第二種20m高度地区
	絶対20m高度地区
	準防火地域
	緑地保全地区
	都市計画道路
	都市高速鉄道
	都市公園・緑地
	その他の都市計画施設
	土地区画整理事業施工済み区域
	地区計画区域
	建築協定区域
	27年DID区域界
	地価公示標準地
	県地価調査標準地

凡 例	
	都市再生整備区域
	潜在快適性等向上区域
	都市機能誘導区域 (令和6年3月策定)
	居住誘導区域 (令和6年3月策定)
	官公庁
	鉄道(JR)



JR博多南駅周辺地区(福岡県春日市) 整備方針概要図(まちなかウォーカーブル推進事業)

目標	大目標:市の地域拠点(駅前拠点)にふさわしい都市基盤施設の充実と魅力的な歩行者空間の形成を図り、歩きたくなるまちなかを創出する	代表的な指標	駅周辺のにぎわいの創出の満足度 ( % )	53.0% (R4年度) → 60.0% (R9年度)
	目標1:エリアの特性を活かした回遊性が高く、巡り歩きたくなる公共空間を創出する		歩道整備の満足度 ( % )	50.2% (R4年度) → 55.0% (R9年度)
	目標2:駅周辺の歩行者空間を整備し、快適で安全な歩行者ネットワークを形成する		当地区において開催されるイベントの回数 ( 回 )	2回 (R4年度) → 5回 (R9年度)
	目標3:官民連携による多様な人々の出会いや交流が生まれる滞留空間や交流拠点を創出する			

